



令和2年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

生目南中学校区 令和2年11月26日(木)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

◆令和2年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『将来、若者も安心して暮らせる魅力あるまちづくりとは』

11年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。平成30年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 平成27年 403,895人 ⇒ 令和47年 301,809人 (25.3%減)
- ・大塚台地域自治区の人口推移 平成27年 6,993人 ⇒ 令和47年 4,314人 (38.3%減)
- ・生目地域自治区の人口推移 平成27年 13,215人 ⇒ 令和47年 9,033人 (31.6%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・生目南公民館総合文化祭、里山創造活動事業、生目南中校区成人式 等



▲生目南中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

◆ フリートーク

● トーク参加者からの意見

- ・市郡医師会病院の移設、宮崎西バイパスなどの道路整備状況等の地理的・施設面のよさがある。また、子育てがしやすく、近隣に小・中学校だけでなく高校があり、教育環境が整っている地域である。
- ・先生が目が行き届きやすく、生徒を見守ってくれるなどのよさがある。また、生徒数が少ないメリットを生かし、体育祭では、コロナ感染拡大防止対策を十分取りながら、生徒や保護者ともに思い出に残る学校行事を行うことができた。
- ・防犯パトロールを行っている中で、空き家問題をはじめ、高齢化問題や人口減少問題が、この地域でも課題であると改めて感じている。
- ・農地が多く、新たに住宅を建てるのが難しい状況もある。
- ・以前は、宮崎には就職先が少なく、県外から帰ってくる選択肢は少なかったが、現在、企業誘致なども進んでいるということなので、就職先の好環境を望んでいる。



● 中学生からの意見

- ・都会とは違う特色のある宮崎のまちづくりをしてほしい。そうすれば、県外に出ても将来宮崎に帰ってきたいと思う。
- ・人に優しいまち、互いに支え合うまちであってほしい。バリアフリーの整備や地域清掃・ボランティア活動がもっと盛んになってほしい。
- ・海が近いという魅力を生かして、陸上大会などの観客が、海のイベントや観光を楽しめる工夫があるとよい。
- ・サーフィンが有名なので、サーフィンや海に関わるイベントや観光にさらに力を入れてほしい。
- ・高台で景色がよく、地震による津波などの影響を受けにくい。また、自然が豊かで公園が多く、外遊びに適している。
- ・学校の生徒にアンケートを取ったところ、「新幹線を通してほしい」「アリーナ建設を進めてほしい」「テレビ局を増やしてほしい」などの意見が挙がった。



● 傍聴者からの意見（アンケートより）

- ・若い方が家を立てることが難しい。若い方が住みやすくなると良い。
- ・地域の行事への参加者が少なくなっているのは、地域を取り仕切る人がいないため。地域活動を取り仕切る企業（団体）ができれば、イベントの参加も増えると思う。
- ・農業の後継者がいない状況を見ると人と商業を増やすべきである。

● 市長からの回答、感想

- ・皆さんからお話を聞いて、大塚台・生目地区にはさまざまな魅力があると感じた。特に、子ども達が地域に育てられていると感じた。
- ・生徒から将来の夢（職業）を聞かせてもらったが、県外に出たとしても、地域への恩返しと思って、宮崎に戻り活躍して欲しい。
- ・宮崎市は、スポーツ・観光・農業（食）で他県にはない宮崎らしさをつくっている。若い方にはぜひ知ってもらいたい。
- ・今日はトーク参加者から多くの意見を頂いた。今後どのように市政に反映していけるか考えていきたい。

〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室
TEL 21-1705
FAX 29-6547

